



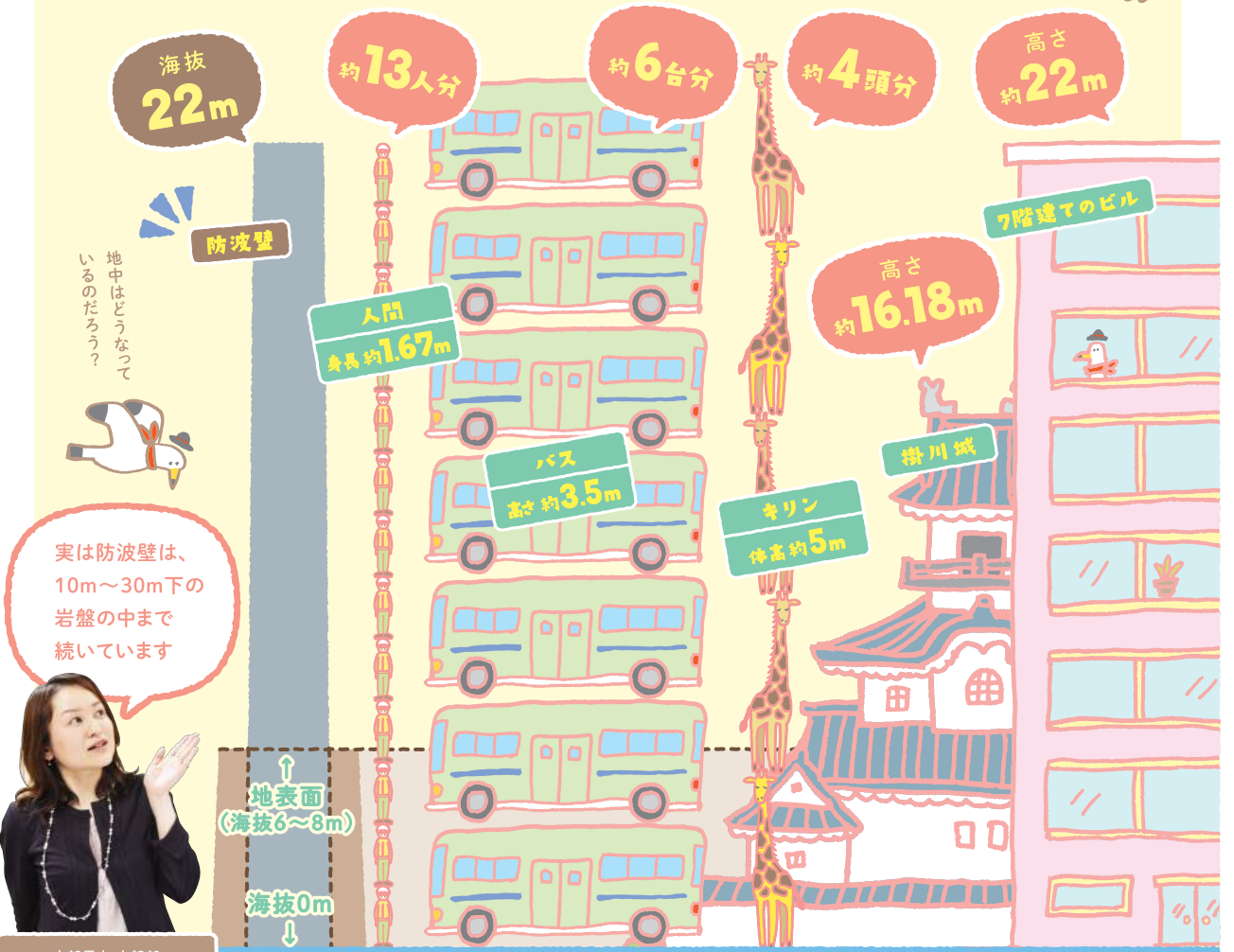
# 浜岡原子力発電所の防波壁って 大きさはどのくらいかな？

浜岡原子力発電所の海沿いには、  
津波が敷地内に入ってくるのを防ぐ「防波壁」があります。  
壁の高さや長さは、いったいどのくらいでしょう？  
いろんなものと、くらべてみました。



高さをくらべると

防波壁の高さは、海拔22m。くらべてみるとこんな高さです。



実は防波壁は、  
10m~30m下の  
岩盤の中まで  
続いています



中部電力 広報部  
コミュニケーション推進グループ  
塩入 真理

←地中の様子は次号でお伝えします。

※地上のものを海拔0mに置いて比較しています。

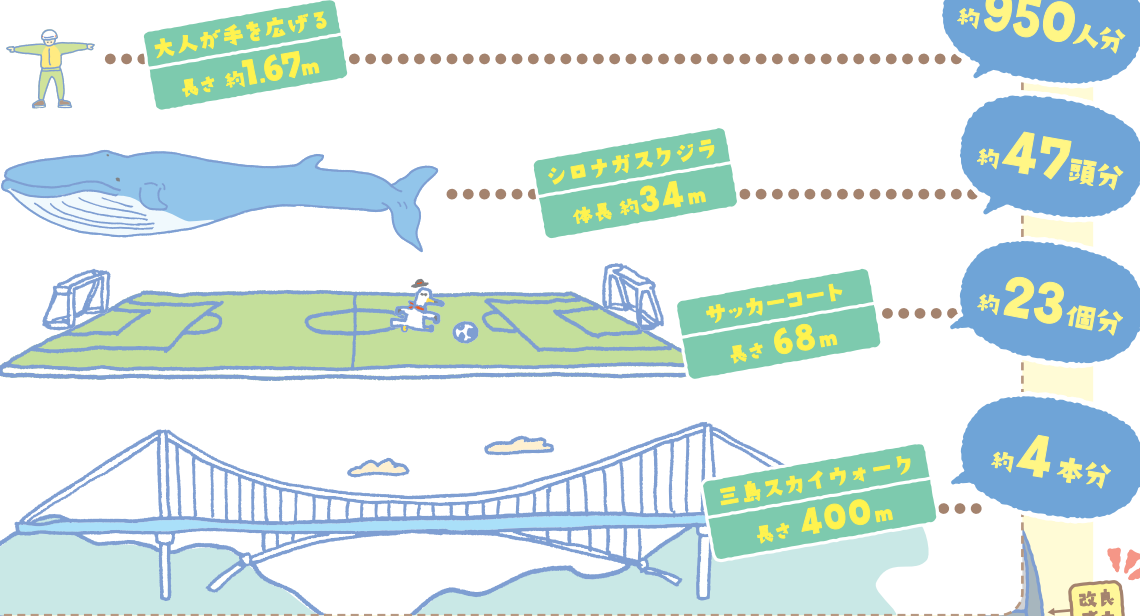
福島第一原子力発電所の事故後、原子力発電に対して不安をお持ちの方は多いと思います。中部電力はくらしに欠かせないエネルギーを安定的にお届けするという責務を持つ会社として、皆さまに「エネルギーのこと、そして浜岡原子力発電所の今」をお伝えしたいと考えています。「ミラエなだより」では、なるべくわかりやすく紹介することで少しでも多くの方にお伝えできればと思っています。



長さをくらべると

防波壁の長さは、総延長で約1.6km。

世界最大の動物であるシロナガスクジラが、47頭も連なる長さです。



かもじろうの発見！  
これほど大きいとはビックリ！  
大きな壁で発電所を守っているんだね。

**Q 防波壁はあるけどその周りから水は入ってこないの？**

**A 防波壁の両端は改良盛土で守っています。**  
浜岡原子力発電所では、東京電力福島第一原子力発電所の事故をふまえて、さまざまな津波対策の一つとして、この巨大な防波壁をつくりました。もし津波が防波壁を回り込んでも、敷地内へ浸入するのを防ぐために、壁の両端には海拔22～24mの改良盛土も設けています。  
**次号では、壁の中や地中の様子をご紹介します！**